

召された者の全体的な経験を持つことによって、命の務めを持つ

聖書：出 3:2-4, 6, 8, 14-15. 4:3-4, 6-7, 9, 14 後半-16, 24-26

- I. 「わたしたちは、何かを自分から出たものと評価する資格が自分にあるということではありません。わたしたちの資格は神から来るのです。神はまたわたしたちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです」——II コリント 3:5-6. 参照、I テモテ 1:16:
 - A. 生ける神ご自身は、神の新約エコノミーのためのわたしたちの務めの資格、能力、適性です。この務めは、キリストを命として神の選ばれた民の中へと分与して、キリストのからだを建造することです——I ヨハネ 5:16 前半。
 - B. その霊は、手順を経た三一の神の究極的表現です。三一の神は命を与える霊と成って、神聖な命、さらには神ご自身を信者たちの中へと分け与え、彼らを新契約、命の契約の奉仕者とします。ですから、彼らの務めは、彼の命を与える霊によって、命である三一の神をもって構成されています。
- II. モーセは歴史上、最初の完全で、資格づけられ、成就された神のしもべでした。モーセは聖書における最初の完全に資格づけられた神のしもべであったので、神のしもべの標準的なモデルであり、神が彼を召すことは、彼のしもべたちを召すことの標準です——参照、出 2:11-15. 使徒 7:22-30, 34-36. ヘブル 11:28.
- III. 神によって召されている人は、燃えるいばらやぶのビジョンを見なければなりません——使徒 7:22-36. 出 3:2:
 - A. 創世記第 3 章のいばらは、墮落した人がのろいの下にあることを示します。罪はのろいをもたらし、のろいは隔てる火の炎をもたらしました——17-18, 24 節。
 - B. 出エジプト第 3 章で、のろわれたいばらは神の器となり、火の炎はいばらやぶと一になります——2-4 節:
 1. 贖いを通して、のろいは取り除かれ、火はいばらと一になりました。
 2. 贖うキリストはのろいを取り除き、火としてのその霊がわたしたちに与えられました——ガラテヤ 3:13-14. ルカ 12:49. 使徒 2:3-4。
 - C. これが示すのは、神の召されている者がみな、自分はいばらやぶ（神ののろいの下にある罪人——創 3:17-18, 24）にすぎず、内側で火が燃えていることを認識しなければならず、またこの火が聖別における三一の神ご自身、すなわち復活の神であることを認識しなければなりません——申 33:1, 16. マルコ 12:26。
 - D. 燃えるいばらやぶの記録は、神の召された者たちに対する継続的な記念また証しとなります——申 33:1, 16. マルコ 12:26:
 1. 墮落した人のためにほふられ神にささげられた小羊で表徴される神の贖いのゆえに（創 4:4）、創世記第 3 章の隔てる炎は、出エジプト第 3 章の訪れ内住

する炎となりました——ガラテヤ 3:13-14. ローマ 12:11. II テモテ 1:6-7.

2. いばらやぶは燃えても焼き尽くされないという事実は、神がわたしたちの天然の命を燃料として用いたくないことを示します。彼は、燃料としての彼ご自身だけをもって燃えたいのです——出 3:2. ローマ 12:11. II テモテ 1:7. コロサイ 1:29.
 3. 燃えるいばらやぶのしるしを通して、神がモーセに印象づけたのは、彼が器、経路であり、それを通して神が現されるということです——II コリント 4:7. ピリピ 1:20, 25-26.
- E. 召会は団体のいばらやぶであり、復活の神をもって燃えています——参照、創 2:22. エペソ 2:6:
1. 神の究極の目標は住まいを得ること、彼の住居を建造することです——ヨハネ 1:14. 2:19. I コリント 3:16. 啓 21:3, 22.
 2. 召会は、贖われた人性の内側で燃えている三一の神です。これは神聖なエコノミーです——ルカ 12:49. 使徒 2:3-4.
 3. イスラエルの子たちは、今日の召会を予表し、団体のいばらやぶであって、贖われ（出 13:14-16）、聖別され（2節）、造り変えられ、建造されました。
 4. 召会は貧しく、低く、死んでいると言ってはなりません。あなたはこれを言えば言うほど、ますます自分自身をのろいの下に置きます。しかし、召会生活のゆえに主を賛美し、それについて称賛するなら、自分自身を神の祝福の下に置きます：
 - a. 「彼はヤコブの中に罪科を見いださず、イスラエルの中に災いを見られなかった」——民 23:21.
 - b. 「何と美しいことか、ヤコブよ、あなたの天幕は！ イスラエルよ、あなたの幕屋は！」—— 24:5.
 - c. 「あなたを祝福する者はすべて祝福され、あなたをのろう者はすべてののろわれる」—— 9節後半.
 5. コリントに在る召会におけるすべての分裂、罪、混乱、賜物の乱用、異端的な教えにもかかわらず、使徒はなおもそれを神の召会と呼びました。なぜなら、集まった信者たちを神の召会とする神聖で霊的な本質が、実際にそこにあったからです——I コリント 1:2.
 6. 今日、団体のいばらやぶは神の住まいとして、完全に復活の中の事柄です：
 - a. 召会は「キリストのもの」、「復活のもの」、天的なものです——参照、創 2:22. エペソ 1:19-23. 2:6.
 - b. 復活は神聖なエコノミーの命の命脈また生命線です——I コリント 15:12. 使徒 13:33. I コリント 15:45 後半. I ペテロ 1:3.
 - c. わたしたちが主の復活の命の中で、主の復活の力をもって彼のために労苦することは、決して無駄になることはなく、神の永遠の定められた御旨を完成するという結果になります。それは、罪人にキリストを宣べ伝え、聖徒たちに命を供給し、金、銀、宝石としての手順を経た三一の神に対する

経験をもって召会を建造することを通してです—— I コリント 15:58. 3:12。

IV. 神によって召されている人は、神がどなたであるかの啓示を持たなければなりません：

A. モーセを召した方の名は、「わたしはある」です——出 3:14-15：

1. 「わたしはある」という名は、神、すなわちキリストが、あらゆる積極的な事物の実際であることを示します——ヨハネ 8:58. 6:35. 8:12. 15:1. コロサイ 2:16-17。
2. わたしたちは、わたしたちを召す神があり、わたしたちがないことを知らなければなりません——ヘブル 11:6。

B. モーセを召した方は、彼の父の神でした——出 3:6：

1. 「あなたの父の神」は、神との歴史を意味します。
2. 神の目に、わたしたちを召す主はわたしたちの霊の父の神です—— I コリント 4:15, 17. 詩 103:7. ピリピ 2:19-22。

C. モーセを召した方は、復活の神でした——マタイ 22:29-33：

1. わたしたちは、アブラハム、イサク、ヤコブの神、すなわち復活させる三一の神を知らなければなりません：
 - a. アブラハムの神は父なる神を表徴し、彼は人を召し、人を義とし、人を装備して、信仰によって生きさせ、彼との交わりの中で生きさせます——創 12:1. 15:6. 第 17 章——第 18 章. 19:29. 21:1-13. 22:1-18。
 - b. イサクの神は子なる神を表徴し、彼は人を祝福して、彼のすべての豊富を受け継がせ、彼の満ちあふれる生活を享受させ、平安の中で生きさせます—— 25:5. 26:3-4, 12-33。
 - c. ヤコブの神は霊なる神を表徴し、彼はすべての事柄の中で働いて、彼を愛する者に益を得させます。そして、人を造り変え、人を神聖な命において円熟させて、人がすべての人々を祝福し、全地を支配し、命の供給としての子なる神をもって、すべての人々を満足させることができるようにします—— 27:41. 28:1 —— 35:10. 第 37 章. 第 39 章——第 49 章. ローマ 8:28-29。
2. 神の召された者は復活の中にいなければならず、あらゆることを復活の中で行なって、召会を建造しなければなりません。召会は完全に復活の中にあります——エペソ 1:19-23. ローマ 8:11. I コリント 15:45 後半, 58. 参照、民 17:1-8。

V. 神によって召されている人は、神の召しの目的を知らなければなりません——出 3:8：

- A. 神の召しの目的は、消極的な面で、神の選びの民をサタンとこの世の強奪と暴虐から救い出すことです。サタンとこの世はパロとエジプトによって予表されます——ローマ 1:16。
- B. 神の召しの目的は、積極的な面で、神の選びの民をすべてを含むキリストの中へともたすことです。彼はわたしたちの霊の中で実際化されたすべてを含む霊であり、乳と蜜の流れるカナンの地によって予表されます——コロサイ 2:6. ガラテヤ 3:14。

- VI. 神によって召されている人は、どのようにサタン、肉、この世を対処するかを知らなければなりません。これは神の働きの原則です—— I ヨハネ3:8. ガラテヤ5:17. I ヨハネ2:15. 参照、 I コリント2:11. ローマ7:18. ガラテヤ6:14 :
- A. わたしたちが神以外に依り頼むものは何であれ、蛇の隠れている所です——出 4:2-4. ルカ 10:19。
 - B. わたしたちの肉はらい病（罪、腐朽、腐敗、不潔）の構成です——出 4:6-7. ローマ 7:17-18, 24-25. イザヤ 6:5。
 - C. この世とその供給、娯楽、享樂は、死の血で満ちています——出 4:9. I ヨハネ 5:19. ガラテヤ 6:14。
- VII. 神によって召されている人は、符合することと切ることの経験を必要とします :
- A. 召された者は、彼の拘束、防衛、保護のために、からだの原則の中で彼と符合する者を持たなければなりません——出 4:14 後半-16. ルカ 10:1. 申 32:30. 伝 4:9-12。
 - B. 召された者は進んで、彼の天然の命の主観的な割礼の経験を持たなければなりません。それは、主の御手の中で有益なものとなって、彼の永遠の定められた御旨を完成し、装備されて、神の委託を遂行するためです——出 4:24-26。
 - C. 神の召しのあらゆる面が今日、主の回復におけるわたしたちの経験となりますように。